

## 第7回 全国柔道事故被害者の会シンポジウム

# 「スポーツ指導とハラスメント」

昨今メディアでも大きく取り上げられるようになったスポーツ指導における各種ハラスメントの問題は、柔道に限らずスポーツ全体にとって非常に深刻な問題です。精神論、根性論のもとに日本人が看過してきたこの問題に目を背けては、本当の意味でのスポーツの安全性は確保できません。

今回のシンポジウムでは柔道指導の問題だけでなくスポーツ指導の在り方について広く考えて行きたいと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

開催日：2013年12月22日(日)

時間：13~17時

場所：日本青年館 501会議室

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7番1号

### ■ 講演予定者

1. 内田 良 氏 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・准教授  
「『指導』という名のハラスメント」
2. 工藤 奈美 氏 剣道事故被害者家族(母親)
3. 村川 弘美 氏 柔道事故被害者家族(母親)
4. 酒井 俊皓 氏 弁護士(酒井法律事務所／日本スポーツ法学会理事)  
「柔道事故における法的問題」
5. 鈴木 知幸 氏 日本スポーツ法学会監事  
「ハラスメント防止の組織ガバナンスを問う! -暴力・ハラスメント発生の構造的問題-」
6. 溝口 紀子 氏 静岡文化芸術大学准教授／静岡県教育委員会委員長職務代理／  
バルセロナ五輪銀メダリスト／スポーツ社会学者  
「スポーツ指導とセクハラ -恋愛式コーチングはドーピングと同じ?-」

参加費：1,000円

主催：全国柔道事故被害者の会 後援：朝日新聞厚生文化事業団

お申し込み(先着130名)・お問い合わせは、ホームページからお願いします。

<http://judojiko.net>